



環境保護

海ごみ問題をはじめとした地域の環境を守る啓発活動など、環境保護に努めています。



Bye Byeプラスチック！ プロジェクト

- 南島原市のNPO法人 蒼ノ扉と協働でプロジェクトを立ち上げ。
- ビーチクリーンイベントを通して地域交流と環境保全に関心をもってもらう活動を実施。
- 使い捨てレジ袋削減をめざしてオリジナル買い物バック製作。



BYE BYE プラスチック！ プロジェクト



障がい者の方々と一緒に、オリジナル買い物バック製作中。



製作中のオリジナル買い物バック。カラフルなヒモは古着の Tシャツを再利用したもの。



障がい者の方向けにアートワークショップを開催。作品は買い物バックデザインの原案に使用。



クリーン活動を行う島原青年会議所と悠久会を利用されている障がい者の皆さん。

BYE BYE プラスチック！ プロジェクト



ロゴマークも決まり 布にプリント ワークショップ開催。

10月22日

デザインは、アートワーク
ショップ(絵画の体験会)で
利用者さんが描いた作品が
原画になっています。



ワークショップには、就労継続支援事業所の「きらり作業所」と、パン屋を営業している「花ぞのパン工房」のメンバー、障がい者支援施設「明けの星寮」から参加してくれました。
島原の老舗 山口屋染物店(てんげ堂)の染物職人 前田尚美さんが講師として優しく教えてくださいました。

環境保全。 CO2排出量削減へ の取り組み。

太陽光発電システムの導入

- 悠久会では銀の星学園に太陽光発電システムを2013年4月に導入いたしました。現在、売電は行っておらず発電された電力については法内で消費しています。
- 年間約28,940kWhの発電量が期待でき、CO2換算では、およそ15,671kg。森林積換算は4.39ha。原油節約換算は6,569Lとなります。



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



13 気候変動に
具体的な対策を



BCP対策

銀の星学園では、BCP対策（非常・被災時の持続可能な支援提供の為）として、蓄電池を新たに設置。

SDGsの推進、クリーンなエネルギーを使用することが安全かつ有意義でもあり普遍的であると言われている今、本設備を有事の際の非常電源として活用しております。



生ごみを堆肥に変える。

生ごみ処理機を導入。

ゴミを減らしてCO2排出量を抑える。



12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



社会福祉法人
悠久会



生ごみ処理機を導入 CO2を削減。生ごみから堆肥を生成。

施設で生成した堆肥は、施設の花壇等で利用するほか、近隣住民の皆様が家庭菜園等で利用していただけるように配布を考えております。

当法人の施設利用者に食事を提供した際に出る生ごみを極力無くしたいと考え、この度、業務用生ごみ処理機(バイオクリーン)を導入することとなりました。

処理機により、1日当たり15Kgの生ごみを堆肥として再利用することができます。これにより、ゴミの焼却処分する量を抑えCO2排出量削減に貢献してまいります。

●生ごみ処理機を導入するにあたり、公益財団法人 森村豊明会様より助成金をいただきました。



SDGsアートワークショップ ペットボトルキャップアートに挑戦 創作活動を通して環境問題を考える。

悠久会では、日頃から障害者の方々と一緒に、地域の清掃活動に取り組んでおり、私たちのSDGsの取り組みを少しでも知ってもらおうと企画したワークショップ。



多様なカラーのペットボトルキャップを立体的に組み合わせて自由な形をつくり、それらを貼り合わせて大きなツリーをつくりました。

手を動かしながら、海ごみの話や問題となっているマイクロプラスチックが話題にあがり皆さん環境ゴミ問題について関心をもっていることが分かりました。
子供たちも、本イベントを通してゴミ問題に少し関心をもってもらえたのではないのでしょうか。

地産地消・地域活性化 障害者雇用

社会福祉法人として地域活性化の後押しができればとの思いから始めた事業です。

雲仙ハム

たこ飯

高菜

島原むすびすの 取り組み

- 環境問題に配慮しプラスチック削減に取り組んでいます。
- 地元の素材を活かしたメニューを開発。地産地消を推進しています。
- 障がい者の方の雇用問題に取り組んでいます。



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



島原むすびすの取り組み



島原商業高校と協働で商品開発
「ジオがくれた島原愛菜弁当」



島原鉄道(株)コラボ商品開発
「幸せの黄色いランチプレート」



島原むすびすで使用している
地元の食材にフォーカスした本を発行。
店舗で無料配布し地元の食材の素晴らしさや
生産者の声を紹介している。

「コンセプトブック」

地元の人気店「中華園」とのコラボ商品開
発

「中華園むすび」

島原観光ビューローとのコラボ商
品

「江戸むすび」

島原産生姜佃煮のお店「ふげん屋」とのコラボ商
品

「生姜つくだ煮むすび」

プラ削減の取り組み。 環境保全に力を入れています。

- プラスチック蓋が不要なecoカップ「バタフライカップ」を採用。
- その他、木製スプーンやトウモロコシを原料にしたストローなどプラスチック削減に取り組んでいます。



Shimabara Musubisu
Original blend

Coffee

「くちのつ巷珈琲焙煎所」が厳選した
当店、オリジナルブレンド珈琲をご賞味ください。

ホット

アイス

●じげんもん野菜がたっぷり入った具だくさんスープ(日替わり)



オススメ!

具だくさんスープと
おむすびのセット

火山の恵み 火山弁当

島原地域おこし協力隊との協働企画

- 島原半島は噴火によって豊かな土壌が形成されたことで、多種多様な野菜が収穫できます。
- 火山の恩恵や、火山の魅力を発信している自称火山女子「地域おこし協力隊 倉林さん」と商品開発。
- 新聞やテレビに取材いただき、島原半島の魅力を多くの方々に発信することができました。

<https://musubisu.com/0503kazan/>



- 島原半島の食材のみ使用
- ブランド卵を使った半熟たまごのメンチカツや、季節限定のタコ飯おむすびなど、島原むすびす人気のおかず
- 雲仙岳のドロドロとした溶岩をイメージしたあんがかかった雲仙しまばら鶏の唐揚げ
- 火山と食材の繋がりを感じるお品書き付き！

島原むすびすの取り組み



障がい者の方々と地域社会との接点に。



店舗で働く障がい者の方々。

BYE BYE Plastic!

脱プラ!

プラスチックストロー
廃止の取り組み。

トウモロコシを主原料とした地球環境にやさしいストロー

12 つくも責任
つから責任

13 気候変動に
具体的な対策を

14 海の豊かさを
守ろう

ドリンク提供の際には、地球環境に優しい植物由来の生分解性ストローを使用。

eco

バイオマス プラスチックレジ袋

再生可能な有機資源から得られる
バイオマスプラスチックを50%以上含む
レジ袋に変更します。

島原むすびす
花ぞのパン工房

社会福祉法人 悠久会

12 つくも責任
つから責任

13 気候変動に
具体的な対策を

14 海の豊かさを
守ろう

BA50
バイオマスプラ

地球環境に配慮しバイオマスプラスチック製レジ袋を導入。

山の上のカフェGarden フェアトレードコーヒー

就労継続支援 B型事業所 山の上のカフェGardenは、島原の美しい自然を感じられるカフェです。

カフェで提供しているコーヒーはフェアトレードのものを使用しています。

フェアトレードとは直訳すると「公平・公正な貿易」。つまり、開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することにより、立場の弱い開発途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目指す「貿易のしくみ」をいいます。



当店で使用しているcoffeeは
フェアトレード珈琲を使用しております。

フェアトレードとは？

就労支援 障がい者の働くを応援。多様なワークモデルを実現。

島原市のゴミ袋製造



飲食部門：パン製造



Fab部門：木工製品を滑らかに磨き上げる利用者



飲食部門：調理



Fab部門：レーザーカッターによる彫刻製品



Fab部門：3Dターニングマシンによる木工品製造





女性の活躍推進

法人で働く職員はもちろん、地域活性化に取り組む方々を応援

女性労働者のキャリア形成を推進。 管理職に占める女性割合を25%以上に

社会福祉法人悠久会では仕事と家庭の両立、働きやすい職場づくりに取り組むとともに、女性労働者のキャリア形成を促進を目指しています。

多くの女性職員が働く当法人では、子育てをしながら安心して働けるよう保育園を設立するなどの取り組みを行ってきました。

現在は令和6年までに、管理職に占める女性割合を25%以上に引き上げることを目標に掲げています。



ながさき女性の活躍応援サイト掲載

働きがいい。 ES向上への取り組み。

- 企業主導型保育園を開園。「いろは保育園」
 - 職員の保育料は法人が全額負担。
- 職員活性度ランキング 全国2位の実績。





SDGs情報発信

どうすれば法人の職員、地域の方々にSDGsについて理解してもらえるだろうか。

WEBや社内報での情報発信を根気よく続けていくことが必要だと感じています。

法人の理念を具体的目標に。 YDGsプロジェクト。

- SDGsを経営に取り入れ、法人の理念をもとにした職員が取り組む15の目標を定めました。
- 職員の中からプロジェクトチームを構成し、全職員にYDGsを浸透させるための活動を行っております。

WEBサイト、社内報で法人内に配信。



情報発信。

- 広報誌を発行。職員をはじめ関係機関にむけて活動情報を発信。
- ホームページやFacebookを通して私たちのSDGsに関わる取り組み、活動情報を地域に配信し続けております。
- <http://yukyukai.or.jp/>
- <https://www.facebook.com/yukyukai/>



情報発信後の効果

TV取材等のオファー多数

活動と情報発信を継続していくうちに自然と注目されるようになりました。

ながさきの広報番組をはじめとした取材依頼や、全国社会福祉法人経営者協議会の会報誌に記事執筆させていただく機会にも恵まれました。

当法人のブランディングにもなっていると感じています。

職員の意識にも変化

これまで、一部の施設で何気なく利用者さんの活動として行っていた地域のゴミ拾い。SDGsの推進を初めてからは法人内で協力し、BLUE SHIP(ゴミ拾いイベント)への参加も活発になりました。

また、職員自ら集まり女性の活躍推進委員会を立ち上げ活動を始めするなど、職員らの意識に変化が起きているように感じています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



福祉とSDGsの取り組みは親和性が高い。
私たち社会福祉法人がアクションを起こすことで、
地域のあらゆる持続可能性に寄与できるのではないかと考えました。
私たちは、SDGsを推進してまいります。